

カンヌ国際広告祭 「ヤング・クリエイティブ・コンペティション」 日本代表にADK&東北新社チームが決定！

世界で最も権威ある国際広告賞とされるカンヌ国際広告祭。そのスペシャルイベント「ヤング・クリエイティブ・コンペティション」への出場チームを決める「ACCヤング・クリエイティブ・コンペティション国内選考会」が3月6日に行われ、フィルム部門では、104チームの中からアサツー ディ・ケイ 武井哲史と東北新社 高島夏来のチームが優勝、日本代表としてカンヌへの出場が決定しました。

カンヌ国際広告祭の「ヤング・クリエイティブ・コンペティション」は、28歳以下の各国代表チームが2人1組で参加し、同一テーマによる課題を規定時間内に作品に仕上げ、世界1を目指して競い合うというもの。フィルム部門、プレス部門、メディア部門、サイバー部門があり、現地での1位チームへの賞品は、翌年のカンヌへの招待となります。

日本代表チームを決める国内選考会はACC国際部会が若手の人材育成の一環として行っており、フィルム部門とプレス部門の2部門で実施。同一課題を規定時間内で提出し、オリエンテーションから作品の仕上げまでを、すべて英語で行うという本番さながらのコンペ方式となっています。今年の審査委員は大谷義智氏（読売広告社）、鏡明氏（電通）、河野俊哉氏（博報堂）、川越智勇氏（アサツー ディ・ケイ）、永井一史氏（HAKUHODO DESIGN）、溝口俊哉氏（マッキンゼーエリクソン）。

現地・カンヌでのコンペティションは、6月21日～27日のカンヌ国際広告祭期間中に実施されます。

※ACC…社団法人 全日本シーエム放送連盟（All Japan Radio & Television Commercial Confederation 通称・ACC）は、CM関係事業者の共通認識の醸成と表現の質的向上を図りながら、視聴者の視点に立ったCMのあるべき姿を追求し、社会的・文化的貢献を目指して活動している、非営利の社団法人。広告と放送に関する広告主・広告会社・制作会社・放送会社の4業種のメンバーで構成されています。

フィルム部門 日本代表チーム

○武井哲史

アサツー ディ・ケイ 第3クリエイティブ局

○高島夏来

東北新社 広告制作事業統合本部 企画演出部

